

ひめだ高宏ニュース

NO. 1100

16.4.26

日本共産党 和歌山市委員

北海道初の市民と野党の共同の力出す

4月24日投票開票された北海道衆院5区の補欠選挙は、安倍自公政権が戦術法を強行したあと初の国政選挙で、市民と野党が共同した初めての選挙でした。当初、自民党の圧勝と見られていたが、横一線の大激戦まで押し上げた池田真紀さんの得票は、23,517票(47.62%)。僅差で惜敗しました。

熊本地震・和歌山市の支援

熊本県内で発生している地震について、和歌山市は次のような支援に取り組んでいます。

1. 住宅支援
市営住宅(10戸)を無償で提供。ほか民間を基本とし、必要に応じて延長可能。家賃・敷金・連帯保証人不要。住宅第一課435/098
2. 人的支援
保健師の派遣

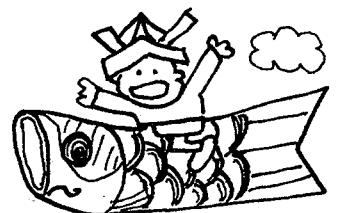
保健師2人、医師1人、診療放射線技師1人を24日から7日間、先に県から派遣されている方たちと交代。〇応急危険判定士の派遣
被災した建築物の調査・倒壊の危険性の判定のため2人を5日間
〇宅地危険判定士の派遣
宅地地盤・人口斜面・擁壁・排水施設等の危険度の判定。3人を4日間
〇土木工事応援隊
配水本管、支管、給水管の漏水修繕、路面の復旧、舗装のため、市職員4人、管工事協同組合員7人派遣

3. 経済的支援
市役所1階、支所、連絡所、サービスセンターに義

援物資を数回。(6月30日一斉に)

次は手書きでお知らせ

5月1日より8日までの赤旗日曜版が合併号となるため、ひめだニュースの次号は、5月15日付け赤旗日曜版折込になります。



今週のフツーの人々

(その46)

「くまモン頑張れ絵」

熊本地震の発生から1週間以上たちましたが、依然として余震が続き、6万人近くの方が避難を余儀なくされています。繰り返し地震で倒壊した家屋も多いということ。市役所、支所、連絡所、サービスセンターに義捐物資を数回。(6月30日一斉に)

紙は報じています。被災者の住まいの確保が何より急がれます。

漫画家ちばてつやさん(「あしたのジョー」の作者)が森田孝次さん(「丸出だめ夫」の作者)からの「くまモンがクマアロ」のファックスをブログに載せたことで「くまモン頑張れ絵」がアロ・アマ問わず一気に広がっています。くまモンは、すごいモンやね!!



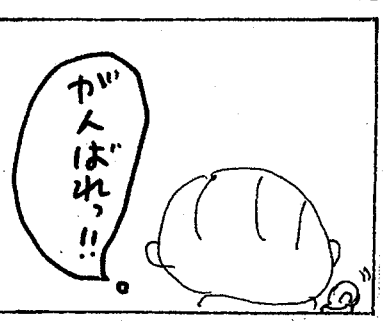
ひめだ高宏

「くまモン頑張れ絵」

フツーの人々



(883)



市職員採用試験・受験案内

2017(平成29)年4月1日採用予定の受験案内です。

試験区分	採用人員	
行政職I種	事務職(1型)	8人
	事務職(2型)	12人
行政職II種	化学職	1人
	建築職	1人
	土木職	4人
消防職I種	5人	

行政職I種の受験資格年齢上限が、30歳から35歳に引き上げられました。
 受け期間

持参 5月26日(木)・27日(金)
 郵送 5月27日の消印有効
 第1試験日と会場
 6月26日(日)、市立日進中学校・明和中学校(試験区分により異なる)
 ◎試験についての問い合わせは和歌山市人事委員会事務局 七番丁の 朝日ビル2階 4335-1377(直通)

市職員(医師)採用募集中です

採用募集中です

和歌山市人事委員会では、保健所で結核予防、感染症予防、乳幼児健診などに従事する医師を募集しています。採用予定は、本年5月2日以降で、合格者が決定されるまで随時受け付けます。問い合わせは、上記の人事委員会事務局まで。

荒竹副市長を講師に研修会

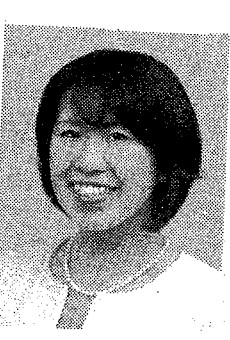
4月18日(月)和歌山市議会議員研修会が荒竹宏之副市長を講師に開かれました。荒竹副市長は、東日本大震災発生当時、福島県生活環境部長(同年6月から環境部長)を務めたことについて、「東日本大震災における行政の初動対応」と題して、放射性物質の汚染に伴う行政の初動対応への影響、県の初動対応を踏まえた私の教訓との話が、当時の苦闘を感じることができた。震災は、マイナスからの出発であり、100点をめざすんじゃないけれど点をめざして、当面は、いちと最低限の暮らしを守ることに全力を傾注すべき。職員ごとの判断即決で迷った実行を避けるべき」と。

早稲田のびびるキャンパス

4月22日、塩屋の早稲田ひで代さんが亡くなりました。岩出の娘さんと暮らしていると思っていました。1月から藤民病院へ入院していたとのこと。早稲田さんは、「ご主人を亡くしてから看護師になり2人の娘さんを育てた」と聞いた記憶があります。退職後は医療生協荻原診療所で90才近くまでボランティア

「ごんごんごん」日本共産党です

うれしい出会いが原動力
 いま、全県キャラバン行動中です。大きな宣伝カーで、時には伴走カーもつき、車の中からみんなの手を振れば、たくさんの方が何事かと注目してくれます。「頑張れー



坂口美子

頑張りましょう」とガッツポーズで応援してくれたり、かつらぎ町では、しんぶん赤旗の購読の申し出がありました。いろんな所をまわったうれしい出会いがあり、明日の原動力になっています。

をしました。踊り、カラオケ、詩吟なども。その昔、塩屋に来た頃、家の前の溝に近所の子どもが落ちそうになり藤澤弘太郎さんに世話になってから共産党を応援していると、選挙のたびに近所に声をかけて小集會を開いてくれました。私、ひめたも公私とも長い間、お世話になりました。ありがとうございました。